

# 白布城だより 2022・冬

栃木県立真岡高等学校定時制課程  
〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1  
☎0285-82-3413 ■FAX0285-82-2913

## ●巻頭言●

## 2学期を振り返って

教 頭 佐藤 成之

保護者の皆様並びに定時制後援会、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご協力とご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

今学期も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、教育活動を継続することを目標に取り組んで参りました。

10月26日(水)から10月28日(金)には、絶好の天気のもと、奈良、大阪、京都方面へ予定通りの日程で修学旅行を実施することができました。

奈良では、生徒たちが、千二百年の歴史を思わせる荘厳な寺院で悠久の歴史に思いを馳せる姿が印象に残りました。エンターテイメントと食い倒れの街、大阪では、道頓堀やユニバーサルスタジオジャパンでの自由行動を、それぞれの計画のもと満喫することができました。最終日の京都では、八つ橋作り体験で、自分だけのオリジナル八つ橋を作り、抹茶と一緒に賞味したほか、清水寺を見学しました。3年次生にとって、本校での大きな思い出のひとつになりました。

また、1、2、4年次生も修学旅行最終日の10月28日(金)にアクアワールド大洗への研修旅行を実施することができました。水族館やバスの中で、気の合う友達同士、様々な魚を見学したり、ショーを見たり、食事をとったりして過ごしました。

11月11日(金)には、進路講演会が行われ、講師として現役のプロスポーツ選手、日光アイスバックスの坂田駿選手をお招きし、生い立ちから今までの貴重な経験をお聞きすることができました。講話では、早寝早起き、トイレをきれいにする。など、当たり前のことのようにでなかなかできないこと、基本的なことの大切さを説かれていました。また、「努力によって成功するかどうかはわからないが、成長することはできる。成功より成長することに意義を見いだそう。」とこれから社会に巣立っていく本校生にエールを送っていただきました。

このほか、11月4日(金)の定時制祭は12月9日(金)に延期して実施しましたが、9月9日(金)主権者教育、9月30日(金)進路キャリア教育、10月21日(金)全校ボランティア、11月25日(金)薬物乱用防止講話、12月22日(木)校内体育大会などの学校行事を予定通り実施することができました。

また、10月15日(土)には、第38回栃木県高等学校定時制通信制文化発表会が栃木県立宇都宮工業高校の大講義室にて開催され、3年次の神谷咲羽さんが本校代表として参加しました。神谷さんは「笑顔の原動力」というタイトルで日頃の練習の成果をいかに発揮し、朗らかに堂々と発表することができました。彼女が入学してからこれまでの大きな成長を感じることができました。

早いもので、今年もあとわずか1週間を残すところとなり、夜明けは遅く、朝晩の冷え込みも強くなりました。皆様方におかれましてはお身体をご自愛され、よい新年をお迎えくださいますよう祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

## ■第2学期始業式



9月1日(木)、記念館講堂で第2学期始業式が行われました。荒井 博文校長は「全日制が先ほどもで会議で使用していたイスを、黙々と会場復帰するみんなの姿を見て、これなら2学期もしっかりやってくれそうな期待感でいっぱい。」と労いました。また、「陸上部と柔道同好会の全国定通総体の大舞台での活躍は立派だった。『白鳥の水かき』という言葉、白鳥は水の上の姿は優雅だが、水中ではバタバタと足を動かして、一生懸命頑張っている姿は想像に難くない。普段は涼しい顔をしている



が、裏では地道に頑張るみなさんと姿がかぶる。今後も努力を続けていってほしい。」と期待を込めたメッセージを送られました。

表彰式 【陸上競技】 石澤奨学金理事長賞 八谷 花梨 さん(3年次)

【校内生活体験発表会】 最優秀賞 神谷 咲羽 さん(3年次) 優秀賞 坂本 明日夏 君(4年次) 橋本 英輝 君(2年次)  
優良賞 細谷 正輝 君(4年次) 岡本 悠 君(3年次) 栗田 蒼生 君、檜山 竜ノ介 君(1年次)  
優秀審査員賞 赤羽 ひろみ さん(4年次)

次に定通全国大会結果報告会が行われました。陸上競技部は惜しくも予選敗退となりましたが、柔道同好会の檜山 竜ノ介君(1年次)は男子75g以下級の1回戦を勝ち抜き、2回戦に進出しました。団体戦では栃木県チームの一員として2勝し、ベスト8入りに貢献しました。

続いて生徒総会が行われ、旧生徒会役員の退任挨拶と新生徒会役員任命式が行われました。新役員は以上のみなさんです。  
会長 ピント ジョ 君 (3年次) 副会長 宮城 賢治 君 (3年次) 書記 鈴木 乃愛 さん (2年次) 見目 愛里沙 さん (1年次)  
会計 金壽 光稜 君 (3年次) 中尾 惺 君 (1年次) 会計監査 岩崎 夕希 さん (2年次) 小笠原 颯汰 君 (1年次)

## ■主権者教育講演会

9月9日(金)、記念館講堂で税理士の矢野 千恵子様をお迎えし、「きょうは税金について考えてみよう！」と題した主権者教育講演会が開催されました。「生徒1人が公立高校に通うために使われる税金はいくらかかっているか？」の3択クイズを出題され、生徒の挙手の大半は、3,3万円次いで5,3万円でした。実は1か月1人当たり8,3万円の税金が投入されているとの想定外の答えに驚きの声上がるほど、生徒も考えさせられたようでした。納税は「幸せのお裾分けである。」と結ばれていました。

## ■進路ガイダンス4

9月30日(金)、記念館講堂で進学・就職に向けた意識高揚を目的に、本校卒業生の2人の専門学校進学者と3人の就職者の計5名をお招きし、一問一答形式の座談会が行われました。TBC 学院宇都宮本校に進学し、コンピュータグラフィックの専門性を高めた結果、そこで教鞭をとる橋本 明奈さん。同校で保育を勉強中の安田 幸一さん。矢崎総業グループの矢崎部品(那須烏山市)に勤務する臼井 城依さん。藤沼建設(下野市)で現場監督を目指す高橋 昇さん。そして中山産業(真岡市)の篠崎 柊人さんが、仕事での苦勞とやりがいについて同世代の目線から、時には笑いを交えて熱弁をふるってくれ、生徒も真剣に聞き入っていました。

高橋 昇さんは「会社組織は、まずは挨拶や気配りの大切さ、次にやる気を周囲に伝えていって、いかに信頼を勝ち取れるかが肝腎だ。」と貴重な体験談を語ってくれました。勝ち得た信頼は想像に難くなく、頼もしささえ感じられました。

## ■人権教育

10月7日(金)、記念館講堂で「夕映えのみち」のDVDを視聴しました。「もしわが子がインターネットで他者の人権を侵してしまったら、逆にわが子が被害者になりいじめにあったら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたら・・・あなたはどうしますか？」と、ネット社会にどっぷり浸かっている私たちに一石を投じる内容でした。インターネット、噂等による誹謗中傷の加害者にも、被害者にもなりうる現代の高校生の等身大が描かれていました。これを機会に、一層人権意識の高揚につながればと思います。

## ■栃木県高等学校定時制通信制文化発表会



10月15日(土)に、宇都宮工業高等学校大講義室で、生活体験発表会が開催され、本校代表の神谷 咲羽さん(3年次)が優良賞を受賞しました。出場13名中ただ一人、原稿を持たずに堂々と発表することができるなど、他の模範となる発表力を身に付けて臨んでいたと、荒井校長よりお褒めの言葉をいただきました。  
またポスターの部で、小嶋 さくら さん(4年次)が佳作に選ばれました。



## ■全校ボランティア

10月21日(金)に、本校周辺の公道上でゴミ拾い、その後、校門内外の落ち葉拾いを行いました。真剣にゴミを拾い歩く姿は、日頃の学校生活のまじめさが直結したボランティア体験活動となりました。

白布ヶ丘周辺地域を歩いてみて常に感心するのは、ポイ捨てされたゴミがほとんどなく、地域の方の環境への意識の高さを伺い知ることができる点です。またゴミを拾っていると挨拶や会釈をしていただき、うれしくなっていました。昨年同様、地域の方から「ありがとね。私も負けずに落ち葉拾い、頑張るよ。」と、励ましのお声掛けをいただき、ありがとうございました。



## ■修学旅行



10月26日(水)から28日(金)まで、参加生徒13名、職員3名(教頭・担任・養護)の計16名で奈良・大阪・京都方面に修学旅行に行ってきました。JR宇都宮駅を7時50分に出発し、新幹線とバスに乗り継ぎ、晴天の奈良東大寺に到着したのは14時、世界最大級の木造建築である大仏殿と、それにふさわしい国内最大の山門である南大門の威容に圧倒されました。その後、薬師寺で「凍える音楽」と称される東塔を拝観し、1300年の悠久の歴史に思いを馳せました。

2日目は生憎の曇り空でしたが、USJやなんば道頓堀界限を班別研修し、クラスメートとの交友を深めることができました。

3日目は、生地から生八つ橋作りやお抹茶体験、清水寺拝観にホテルでの昼食ビュッフェと盛り沢山の内容で、思い出に残る3日間になりました。18時15分にJR宇都宮駅に到着し、全日程を無事終了しました。

## ■校外学習

10月28日(金)に借り上げバスで、生徒37名・職員6名の計43名で那珂湊・大洗方面に校外学習に行ってきました。那珂湊おさかな市場では買い物を楽しみ、昼食の海の幸に舌鼓を打ちました。魚を大量買いした生徒が、家のお土産にすると話しながら、両手に大事そうに持ち歩く姿はほえましかったです。アクアワールド大洗水族館では、巨大水槽内2万匹の魚の乱舞やイルカ・アシカのショーに目を見張り、かわいいうペンギンに癒されました。18時過ぎに無事帰校しました。



## ■進路講演会

11月11日（金）、記念館講堂に日光アイスバックスのデフェンダー選手の坂田 駿 選手をお招きして、「人との出会い・進路選択の重要性を認識させる」と題して、ご講演をいただきました。実業家との二足の草鞋を履き活動するVTRも見せていただきました。

坂田選手は小学6年生の時、交通事故でお父様を亡くした経験から生命への意識が高まり、「人生3万日。せっかく生まれてきたのだから、やりたいように生きてやれ」との思いに至ったそうです。しかし学生時代から社会人になった当初は、怠惰な生活から思うように実力を発揮できず、試合に出られない日々が続きました。悩み苦しむ中から、早寝早起きや部屋の清掃等、日常生活の改善に取り組む中で日本代表に選出され、オリンピック予選にまで出場するほどの選手に成長しました。

現在も「5時半に起床、1時間散歩、トイレ掃除を欠かさず行う、落ちている道端のゴミは拾う」の4点を心掛け、「ミスしても下を向かず、自信満々の態度で相手と接すること」を信条としているとのことでした。「やりたいことをとことん好きになってやりぬくこと」「いつも成功するとは限らないが、成長しているはず」という言葉が、生徒の共感を得ていました。プレゼントじゃんけんや記念撮影等、楽しいひと時となりました。（※ [【H.C.栃木日光アイスバックス】公式サイト \(icebucks.jp\)](http://icebucks.jp) に記事あり）

## ■校内防火防災避難訓練

11月18日（金）、地震発生後の出火の想定で避難訓練が行われました。各HRで地震発生のお知らせがあると、机の下に体を入れて身を守る姿勢を取っている者が大半を占め、本校生のまじめさがよく表れていました。避難指示のお知らせにより、体育館へ避難しましたが、全生徒の点呼が完了して教頭報告までに要した時間は3分45秒と昨年並みの迅速な行動が取れました。

講評で佐藤 成之教頭は、「実際の火災は、火よりも煙に巻かれて命を落とすことが多い。訓練のための訓練にせず、実際の災害を想定した避難ができたかどうかが大切だ。」と話されました。

## ■秋季大会

10月8日（土）、学悠館高校体育館（栃木市）で、県定時制通信制秋季卓球大会が開催され、野澤 尚史君（3年次）が3回戦ベスト16に進出、金壽 光稜君は初戦敗退でした。野澤君は3回戦で、第1シードに対し1セット目シーソーゲームを展開しました。

10月22日（土）、同所で県定時制通信制秋季バドミントン大会が行われ、ピント ジョウ君が惜しくも2回戦敗退しました。

11月19日（土）、大松山運動公園（下野市）で県定時制通信制秋季陸上競技大会が行われ、**菅野 秀紀 君（3年次）が砲丸投げで7m62cmの第2位に入賞しました。**優勝した他校の選手は、夏の全国総体入賞の強者とのことで、3m差がついたとのことでした。

夜遅く寒い中、顧問の岡野先生と二人三脚で練習する姿は、陸上競技界の名言「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」の通り、来夏の県総体に向けて逆転を期して、頑張りを期待しています。

## ■授業参観・薬物乱用防止講話

11月25日（金）、3時限に1年次は石川先生の「公共」、2年次は小森先生の「コミュニケーション英語Ⅰ」、3年次は篠原先生の「化学基礎」、4年次は岡野先生の「数学活用」の授業が行われ、多くの保護者の方にご参観いただきました。

1年次の「公共」では、街のマック・モス・KFCの店内外の写真を考察させ、共通する色は何か質問したところ、生徒たちは積極的に発言し、正解すると大喜びでした。その後、色彩がもたらす人間への影響力について考えさせ、それは消費行動に影響を及ぼす「プライミング効果」であるとのことでした。また、3年次の保護者の方と共に昨年度の卒業生も来校し、姉妹の頑張りを参観していました。

その後、記念館講堂で保護司の上野 淑雄様をお迎えしてご講話をいただきました。先生は本校OBで、同窓会久下田支部長をなさっています。保護司は犯罪に陥った人の更生を手助けする公的なボランティアであると説明されました。お話から薬物中毒の怖さについて、特に再犯率の高さや悲劇的な末路、そして脳に及ぼす甚大なダメージについて詳しく知ることができました。

また、若者がファッション感覚でタトゥーを入れる昨今の状況にも警鐘を鳴らされていました。火傷を負うためCTスキャンを受けられないなど、大きな代償を払わなければならないとのことのお話は衝撃でした。



## ■定時制祭



12月9日（金）、コロナ禍により1か月延期になっていた定時制祭が多目的室で行われました。今年度新しく来られた先生方へのインタビュービデオを視聴後、それに関するクイズが出題されました。また、ポーズ一致ゲーム・イントロドン・叩いてかぶってじゃんけんぽん等到大盛り上がりの楽しいタベとなりました。生徒会役員も司会進行に、コスプレショーや寸劇と大車輪の活躍でした。荒井 博文校長から「企画運営が素晴らしかった。生徒たちもリラックスして大いに楽しんでいる姿が、見ていてほえましかった。」と、お褒めの言葉をいただきました。

## ■校内体育大会

12月22日（金）、校内体育大会バレーボール競技が講堂で行われました。2学期の体育の授業を通して練習してきた成果が思う存分発揮され、大きく体調を崩す者も怪我をする者もおらず、白熱した戦いが繰り広げられました。多くの生徒が、「楽しかった。クラスが団結できた。」と、感想を述べていました。結果は以下の通りです。2学期の始業式で表彰の予定です。

バレーボール競技 優勝 2年次（職員を含む） 準優勝 4年次A

## ■第2学期終業式

12月23日（金）、記念館講堂で第2学期終業式が行われました。荒井 博文校長は「一年の世相を漢字一文字で表す『今年の漢字』が京都・清水寺で発表され、今年は『戦』に決まった。2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は未だ解決の糸口も見つからず、日本近海でも北朝鮮のミサイル発射や、中国船の度重なる領海侵入が頻発するなど、戦争の恐ろしさを目の当たりにした一年だった。また、円安・物価高による生活上での戦い、大谷選手や日本サッカー等、スポーツの分野での熱戦・挑戦も注目された。

実は『戦』が選ばれたのは、米国同時多発テロ事件で世界情勢が一変した2001年に次ぎ2度目で、世界的不況との戦いやMLBへのイチロー選手の挑戦、MVP獲得もあった年であった。

来学期は、無為な1年を送った人、来年度もっと有意義に過ごしたいと思う人にとって、一区切りをつけられる時期である。今年を振り返り、次に生かせる有意義な時間を、自分で作りあげてほしい。」と、今年を締めくくられました。

## □進路指導所懐 ～ 進学・就職面ですばらしい成果 ～ 進路指導部長より

令和4年度は進路指導を行う上で、とても希有な年になった。進路希望の内訳が、就職希望者14名、4年制大学1名と就職希望に大きく偏ってしまったためである。就職活動の状況はきわめて良好であり、10月末の時点で入社試験を受けた生徒全員が内定を得ることができた。6・7月に進路ガイダンスを行った上で夏休みを有効活用し、2名の外部講師による履歴書および面接指導を2日間にわたり実施したことが、有効だったと考えている。



求人に関しては、1. 各会社が、どのような人材を求めているのか。2. どの程度の学力を必要としているのか。3. 男性・女性のどちらを特に求めているのか。(真岡地区の工場は、男性のみを募集しているところがほとんど) 4. 求人数とその充足率の見通し。これら4つを中心に多くの事業所の人事担当の方と細かく面談している。また各会社の本校に対しての熱量も参考にしている。以下が内定した事業所である。

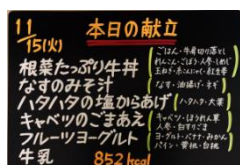
- (株) 矢崎部品 「ワイヤーハーネス」世界シェアトップクラス 年間売り上げ1兆6千億円を誇る。
- (株) 中山産業 (3名) 東京ドーム9個分の敷地、神戸製鋼所との取引NO.1、木製・金属製パレットの製造を行っている。
- (株) 東洋ビューティ 化粧品受託メーカーとして3拠点4工場をもち、少量多品種から大量生産までを行っている。
- (株) ダイニック 乳酸菌飲料の蓋材等の製造を行っている。
- (株) 日本デキシール カップ成形機による紙コップ、紙容器の製造等を行っている。
- (株) アムテック アルミ缶等を高温で溶かし、リサイクルしている。
- (株) 茨城食品ガーリック工業 レトルト・チルド・乾燥食品の製造をOEDの形態で製造している。
- (株) オリックスレンタカー栃木 レンタカー業務全般、あらゆる自動車メーカーの車を貸し出している。
- 特別養護老人ホームやまざわの里 特養老人ホームにおける介護業務全般を行っている。

## ●クラス関係・表彰一覧●

| 学年次       | 在籍  | 出席率 | 皆勤 | 皆 勤 賞                            |
|-----------|-----|-----|----|----------------------------------|
| 1年次 (夕)   | 15名 | %   | 名  | 千葉 陽翔 君 (*1学期分に篠崎 遼 君を追加して訂正します) |
| 2年次 (夕)   | 7名  | %   | 名  | 水上 拓海 君                          |
| 3年次 (夕・夜) | 16名 | %   | 名  | 高橋 明 君、野澤 尚史 君、ピント ジョ 君          |
| 4年次 (夕・夜) | 12名 | %   | 名  | 赤羽 ひろみ さん                        |

(表彰式) 日本語ワープロ検定3級合格者 橋本 英輝 君、森島 直也 君 (2年次)

## ※学校給食について…保護者等の方へ！



本校HP内の「給食室より」では、森田 彩子学校栄養士により栄養豊富なメニューが写真付きで毎日更新されています。これらは事前にお預かりした給食費から1食330円で作られており、その美味しさを楽しみに登校する者も多いです。残念なことに一切給食を取らない生徒がおり、保護者等の方が汗水たらして働いて得たお金のありがたさを無にし、フードロスにつながっています。ご家庭でもこの機会に、話をし



ていただきたいと思います。以下のURL (<http://www.tochigi-edu.ed.jp/moka/>) を直接入力するか、QRコードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取ってアクセスしてください。

### ★白布のかぜ～あとがきに代えて～

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきましたが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。平素から定時制教育にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

今号は定時制後援会について、お知らせしたいと思います。本校定時制課程が昭和44年に設置されたのと時を同じくして、県内で唯一、後援会が組織されました。この「白布城だより」は、定時制に通学する勤労生徒と職場との連携を密にするため、定期的に活動報告を行うための季刊報として発刊され、現在に至ると伝えられております。

この冬、進路指導で日頃お世話になっている企業様にお声掛けをしたところ、快く趣旨にご賛同をいただき、数社が新規加入してくださいました。現在、行政を除く約80の企業・個人の皆様から会費を頂戴しており、校外研修や部活動など、本校定時制教育の充実のため、大切に活用させていただいております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

寒い冬が到来しました。「コロナ禍」も3年がたとうとしています。「冬来たりなば春遠からじ」、寒くて厳しい冬が来たということは、暖かい春はもうすでに目の前まで来ているということ、つまり、つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来ると例えです。

保護者の皆さま、地域の皆さま、そして私たち教職員、真岡高校定時制に関わる全ての方々が、つつがなく新年を迎えられますことを祈念しております。(渉外部)

